



ぎふの木ネット協議会 特別フォーラムのご案内

ぎふの木ネット協議会特別フォーラム開催!

**講演 住宅・建築物の木質化による
テーマ ホールライフカーボン削減とウェルビーイング向上**

講師 伊香賀 俊治 先生

— こんな話が聞けます —

- ・住宅・建築物の木質化が環境・社会・経済に与える効果
- ・木質化によるCO2削減の現状・今後の展望
- ・木質化による健康・ウェルビーイング向上のメリット

— 講師主 伊香賀 俊治 先生 講演内容 —

講演で、講演は聞き取り易く丁寧な説明が好評です。質疑応答も歓迎いたします。

日時 2025年7月11日(金)
13:30~17:00(受付13:00~)

場所 グランヴェール岐阜 鳳凰の間
〒500-8678 岐阜県岐阜市鳳凰町1丁目
TEL:058-263-7111

FAX 058-271-3116
ご返信

申込 出席

ぎふの木ネット協議会 岐阜県岐阜市鳳凰町1丁目1-3 1F 2F 岐阜県建設局500号
TEL:058-271-3111 E-mail: info@gifunet.com

下記の通り、特別フォーラムを開催いたしますのでぜひご出席ください。

日時：R7年7月11日(金)
時間：13：30～16：45（受付 13：00）

会場：グランヴェール岐阜 鳳凰の間
講演：慶應義塾大学名誉教授 伊香賀 俊治 先生
テーマ
『住宅・建築物の木質化による
ホールライフカーボン削減と
ウェルビーイング向上』

詳細、お申し込みは[こちらから](#)

補助金情報

補助対象	補助率
新築	32%
改修	16%

補助額 岐阜県建設局 TEL:058-272-8487 FAX:058-278-2705

岐阜県から「令和7年度 ぎふの木で家づくり支援事業」補助金のお知らせが届きました。

詳しくはこちらの⇒[岐阜県ホームページ](#)をご確認ください。

住宅ローン情報

住宅金融支援機構から全期間固定金利の住宅ローン【フラット35】についてのお知らせが届きました。詳しくは下記のチラシにてご確認ください。



非住宅部会始動のご案内

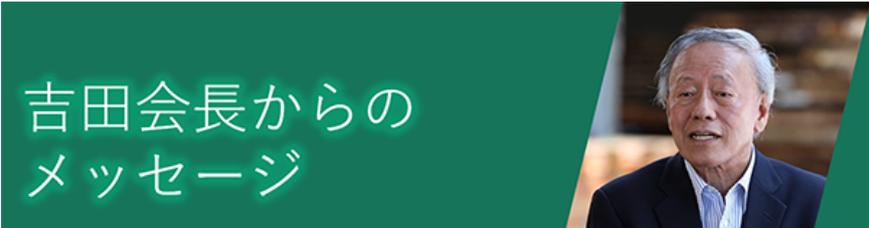
ぎふの木ネット協会は「非住宅部会」を立ち上げます

非住宅について一緒に学びませんか

岐阜県産材活用の非住宅物件の見学&勉強会を企画
 今期は3回の見学会を計画
 ・長野間阿智村グランピング施設物件
 第1回目を7月16日（水）に計画しています。
 詳細は後日ご案内予定です。



内容（原案）
 県産材で建築された非住宅物件の見学
 場所は 岐阜県内または近隣の県の建築現場
 見学会とセミナーを兼ねて開催します。
 ※ 各イベントは現地集合
 ※ 年間3回程度計画しています。



世界大混乱！日本は？木材住宅業界は？（前編）

今年のクリスマスは危うい？

トランプ大統領の話題で持ち切りです。就任100日が経過し、まず良し悪しは別としてスピード感と行動力、バイタリティーには驚かされます。自由主義の旗主である筈の米国が急に自国ファースト、世界を相手に大幅関税アップを宣言したのは少し前の事です。特に中国に対しては145%の関税を課し中国も対抗上125%の対抗関税を発表しており、かつて経験した事のない段階に突入致しました。



輸入関税を大幅に引き上げれば何が起ころか？

「今年のクリスマスは危うい？」これはある社説に掲載された一文です。米国で販売されるおもちゃの大半は中国製ですが高関税の影響で取引解約が続出し生産が止まっているといえます。生産がクリスマスに間に合ったとしても人々のプレゼント代がはね上がるのは必須だろうと予測されています。

吹き飛んだ600兆円！しかもっと気になる事は？

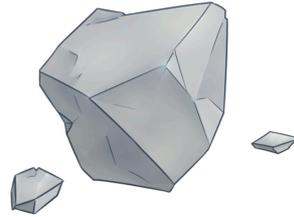
トランプ大統領に近寄り同政権を指示した巨大テック企業が代償を払う展開になっています。政権発足から3ヶ月で主要7社（アップル、マイクロソフト、エヌビディア、グーグル、アマゾン、メタ、テスラ）の時価総額は24%減りました。目減り額は4.2兆ドルで日本の年間GDP約600兆円に匹敵する規模です。



しかしその直後に追加関税実施を90日間延期の発表まさしく朝令暮改。その理由は？世界同時に追加関税の発表により株価の大幅下落は予測されておりその通りになりましたが、米国債の金利が4.5%に上昇しました。つまり債権の暴落につながる状況でした。さすがにこのままではリーマンショックの二の舞になるとの懸念から政権内部で急ブレーキがかけられました。こうした経済的な激変以上に大変気になる点があります。

中国によるレア・アースの輸出規制です。

レア・アースの中でも特に希少価値高い中・重希土類を対象（ジスプロシウム、テルビウム等7種類）にした輸出管理です。中国依存度が極めて高く世界の99%近くが中国で加工されており輸出管理のリストに加えた大半が米国の防衛関係企業でした。こうしたレア・アースは米国の最新戦闘機や、原子力潜水艦の製造に不可欠です。米国の軍需産業は中国からの輸入が2~3ヶ月滞ると在庫が枯渇し始め遅くとも半年ほどで本格的な影響がでてくると見られます。



又米国は巨額の米国債を保有しており（No.1は日本）それを一斉に市場で売り浴びせる「米国売り」もささやかれており世界情勢は予断を許さない状況となっております。

既に相互関税の影響が

〈今後最も影響を受けそうな自動車業界〉

自動車保険	26,370円	27,800円
重量税	6,600円	16,400円
印紙・証紙代	1,100円	1,100円
車検基本工賃	7,800円	9,800円
走行手数料	8,640円	8,640円
その他	3,240円	3,240円
合計	53,750円	67,180円

日産自動車が7500億過去最大級の赤字見込みです。殆どすべての自動車メーカーが中国市場で急激なシェアダウンに見舞われています。BYDを中心とした中国自動車メーカーはスピード感のある開発能力でここ数年で一気に性能向上とコストダウンを果たしました。又BYDは日本の軽自動車市場への参入も発表しており大きな脅威となりそうです。彼らは資源開発から部品供給組立てに至るまで国策としてサプライチェーンを知期間で構築する事に成功致しました。

現在、日本の自動車業界は中国での競争に対応する為戦略を急回転させました。それは、中国のITや部品メーカーと組む事で価格競争力や開発期間の短縮等でのメリットを優先する判断です。日本車のみならずアウディやBMWのドイツ車もファーウェイ等のITやAI技術を導入しスピード感を向上させておりホンダについてもAI新興のディープシーブを搭載するとの報道がなされました。AIを利用した自動運転システムやバッテリーの開発では、日本はかなり出遅れていると思われま。

一・〈タイ天然ゴム価格下落〉

4月中旬に世界最大の天然ゴム生産国であるタイのゴム価格に下落圧力が強まりました。ピークから1~2割安となっており、これは関税政策により自動車の需要が低迷しタイヤの原料である天然ゴムの価格下落圧力が強まっている事が背景です。

一・〈中国一部で雇用不安。太陽光発電も赤字に…〉

中国の広東省は、域内総生産が昨年280兆円位で中国の地域別で最大の地区であり、ファーウェイなどの大企業他中小零細企業がひしめき合っています。

地区の人材派遣会社では、電子部品メーカー等への派遣先が減産に入っており需要が急激しております。又パソコン用デスクの工場では「顧客の要請で米国向けの出荷が止まっている」との情報もあります。又広州市では中国の衣類品ネット通販「シーイン」の取引先工場が集まっています。シーインは米国の小口貨物の免税措置を活用して成長してきましたが、米政府は同措置の撤廃を決め、その結果受注が急減しており、こうした中小零細工場等での雇用不安が増大しています。



又昨年太陽光パネルの製造で圧倒的なシェアを持つ中国企業が生産能力を増強して需要を上回る供給により市況が大幅に悪化しました。太陽光パネルの出荷量で世界トップ10の9社が中国企業ですが、ウクライナ危機でエネルギー価格が上り需要が伸びたことを好機ととらえサプライチェーンの川上から川下まで積極的な生産増強に走った結果「供給の伸びが需要の伸びを大幅に上回った」という現象がおこりました。中国は太陽光パネルの新規設置量でも世界全体の過半を占める巨大需要国ですが、それでも供給が国内でさばき切れない量となり、あふれた製品は国外に向

かいました。中国では鉄鋼や電気自動車（EV）で過剰在庫を国外で、安く売りさばく「デフレ輸出」が国際社会でも摩擦の要因ともなっており太陽光でも同様の問題が生じています。

世界シェア2位のロンジソーラーなど5社が巨額損失を計上。残り2社も98%減益となっています。

〈北米産木材対日価格2%上昇〉

米国は輸入の多くをカナダ産木材に頼っています。

1~2月は木材の関税上昇に備える米国のホームセンター業界などからの駆け込み注文が殺到したといわれています。又カナダでは、インフレの影響で木材原料の丸太価格や人件費などの上昇傾向が続いておりBC州では、製材工場も一部閉鎖しており日本向けの供給も抑えられています。

直近の奇妙な現象

・今迄は我国経済や我々業界に関する点について気になる点を記述致しましたが、最近今迄と違う奇妙な現象が起こっています。

〈一つ目は銘木市場での中国勢の存在感〉

私が理事長を務めております岐阜県銘木協同組合では毎月市売りを行っており、台湾、韓国、中国等からかなりのバイヤーが参加しております。特に最近中国勢の買い方に勢いがあり、セリ売りも活況を呈しております。

〈二つ目は米広葉樹輸出協会からのコンタクト〉

今迄岐阜県では高山の家具業界には関係性が多少あった様ですが、今回直接TELがあり岐阜地区でフォーラムを行ないたいので、人を動員して欲しいとの依頼がありました。その前に一度会いたいとの事で大阪領事館からわざわざ来られるようです。

背景を考えると……相互間税の影響かも？ 木材製品は適用対象外

トランプ大統領は貿易相手国に対し相互間税を課すと発表致しましたが、木材製品は適用対象外となる事が明らかになりました。しかし大幅な関税を課された中国では、4月4日から米国産丸太の輸入を禁止しており米日間での木材貿易摩擦が発生しています。

かつて中国勢は米国の広葉樹を大量に購入しており日本は買い負けしている状況でした。

銘木市場での中国勢の活況や突然の米国広葉樹輸出協会からの話。何か一本の線で繋がっている様な感じを受けています。

今後北米材の動向次第では国産材木材相場にも多大な影響が出てきそうな懸念すらあります。世界の情勢が日本経済のみならず、我々業界へも大きな影響を及ぼしそうであり、今後注視したいと思います。時代の先回りをする事でピンチをチャンスに変えることも可能かと考えています。

来月は我々業界の大変化について記述したいと存じます。



モクタウン情報

ぎふの木ネットのコンセプトブックが新しくなりました。

お施主様等に配布をご希望の場合は、事務局まで連絡ください。



この冊子には、ぎふの木ネットがどういった活動をしているか、また木材の良さやメリットなどの情報が盛りだくさんです。お施主様に配布できる場面があればぜひ活用してください。

お施主様等に配布をご希望の場合は、事務局まで連絡ください。

コンセプトブックは[こちらから](#)



会員様のイベント情報を募集します。

オープンハウスなどのイベントの予定がある場合は、事務局にお知らせください。
 タイミングが合えば、ぜひ取材行かせていただきたいです。
 取材した内容はサイト上にて紹介させていただきます。

岐阜県木造建築マイスター養成講座

岐阜県木造住宅アドバイザー・建築士向け **受講者 募集!**

令和7年度 **岐阜県木造建築マイスター養成講座**

- 教育・福祉施設、事務所、倉庫など非住宅分野の中大規模木造建築に携わるためのスキルを学べます!
- 全5回の修了者は「岐阜県木造建築マイスター」として認定し、岐阜県公式HPに掲載します。

非住宅木造の計画・設計の流れ
 木構造コンセプトを意匠へ活かす
 地域産材にこだわる
 防火などの各種法令・基準
 中大規模建築の省エネ・ZEB
 木造建築を木材工學から

- 開催日 令和7年7/11(金) 7/25(金) 8/22(金) 8/29(金) 9/13(土) (計5日間)
- 開催場所 ぎふ森林文化センター (岐阜市六条工渠2-5-6【第1回、第4回】)
 イノベーターズレッジ (岐阜市最田南3-7-20【第2回】)
 NIPPONIA美濃商家町 (岐阜市本町12-1【第3回】)
 イノベーターズレッジ (岐阜市最田南3-7-20【第5回】)

非住宅分野の木造建築物にご関心がある岐阜県木造住宅アドバイザーの方、建築士の方の積極的なご応募をお待ちしております。

主催：岐阜県林政部 産材流通課・岐阜県木材協同組合連合会
 ※ 参加費は300円(税別)です(別途送料がかかります)。

当県では、非住宅分野の建築物に関する木造化や木質化の提案や相談対応等のできる建築士の方を養成することを目的として、昨年度に引き続き、「岐阜県木造建築マイスター養成講座」を開催いたします。

全日程の受講を終了された方は「岐阜県木造建築マイスター」に認定させていただきます。

受講を希望される方は【令和7年7月4日(金)まで※当日必着】に必要書類を「岐阜県木材協同組合連合会」まで

チラシはこちら
 認定要領はこちら
 受講申請書はこちら

